

北海道銀杏会 第 34 回講演会

日時 2019 年 7 月 23 日(火) 18 時 30 分～20 時 15 分

場所 ホテルサンルート札幌 3 階 「宗谷」

講師 マドラー株式会社 代表取締役 成田 智哉 様

本日は、マドラー株式会社の成田代表取締役を講師にお迎えし、「地域のポテンシャルをかき混ぜる世界の現状と未来」と題してご講演いただきました。

講演では講師の大学以前の時代、大学時代、トヨタ自動車勤務時代、退職から起業に至るまでの生き様を話されました。どの時代にも共通していたのは「チャレンジ」と「広い世の中への関心」であったと思います。講師は 1988 年生まれとお若いですが、新たなチャレンジを志して本年 5 月に当社を設立されました。「越境する」をキーワードに、世の中の様々な人、経験、目的などを媒介することで地域の活性化を目指す会社です。マドラーのように世の中をかき混ぜ、より良くしていきたいと熱く抱負を述べられました。

講演の後にはいつものとおり質疑応答がなされました。しかし、新社長を応援したい参加者の気持ちからか、いつの間にかアドバイスが主となり、必要に応じて先輩をどしどし使うべしということで締めくくりとなりました。

ご講演いただきました成田社長と参加された会員の皆様に厚くお礼申し上げます。

〈ご講演の概要〉

1. 大学以前の時代

- (1) 生まれは千歳市。武道は少林寺、柔道、剣道の黒帯。読書や映画にも興味があった。中学時代に見た「GO」という在日韓国人を主人公にした映画で、ものすごく勉強することで差別を乗り越えていった姿が印象に残った。
- (2) 高校は北広島高校。受験大学を決める際、広い世界を見たくて東大にしたところ学校中が大騒ぎとなった。なにしろ過去に東大合格者はおらず、無謀なチャレンジと受け止められた。二浪はしたが、東大に入学。

2. 大学時代

- (1) 大学生活の中心は旅とアルバイトでした。レールの上を歩いて行く東大生が多いなか、より広く世の中を見てみたいとガソリンスタンドや、渋谷センター街の深夜カフェでもアルバイトをしました。
- (2) 専攻は西洋史。19 世紀後半から 20 世紀の英国史をテーマとしました。英国が単一ではなく 4 つの地域の微妙なバランスで成り立っているということに、複眼的な感覚が養われた気がします。

3. トヨタ自動車勤務時代

- (1) 世界平和に貢献できる民間企業という観点から、トヨタ自動車を受験し採用していただきました。
- (2) 人事部に所属し、人間関係諸活動に関わる仕事に5年間携わりました。従業員8万人という世界企業であり多種多様な人がいます。その方々とコミュニケーションをとらねば仕事にはなりません。トヨタ自動車では「現地現物」といって、現場に行って自分の目で見るのがとても大切です。私も現場に足繁く通い、年間300日以上飲み会で工場のオヤジさんたちにもかわいがられました。
- (3) 2018年には念願の海外勤務が叶いブラジル支社に赴任となりました。

4. 退職から起業

- (1) ブラジル支社では、豪邸に運転手付きの車と驚くほどの好待遇。現地の従業員とは明確な線が引かれているのを感じました。赴任して4ヶ月、30歳の誕生日をアマゾン川で迎え、雇われるのではなく新たなチャレンジが必要であると決意しました。何をやるかの考えはまとまっていませんでしたが、起業することとしました。
- (2) 帰国し、起業に向けて多くの方(1,000人以上)に意見を聞いて聞いて聞き回りました。地方創生にむけた先駆地である、離島の海士町や、岡山県の山村にある西栗倉村など大変参考になりました。
- (3) 2019年4月に震災で大きな被害にあった北海道厚真町のローカルベンチャースクールに参加。レガシーとテクノロジー、都会と地方、ベテランと若者など社会の両端を結びつけることの有用性と可能性に思い至り起業。

(文責 渡辺知博)